

2024年新年賀会を開催



▲国歌斉唱



▲式典を彩るピアノ演奏



▲新年の抱負を述べる濱谷会頭



▲濱谷会頭(写真中央)と年男・年女の方々による鏡開き



▲参加者で賑わう会場

好機を掴む辰年を祝う

本所では、去る1月7日、2024年新年賀会を開催し、464名が参列した。

開会に先立ち1月1日に発生した能登半島地震の犠牲者に黙とうを捧げた後、式典では来賓に衆議院議員 宗清皇一氏並びに岩谷良平氏、近畿経済産業局長 信谷和重氏、東大阪市長 野田義和氏、東大阪市議会議長 右近徳博氏を迎えて祝辞を頂いた。

年頭挨拶で濱谷会頭は能登半島地震における犠牲者への哀悼の意と支援者への敬意を述べると共に「新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、

活気ある社会が戻ってきた。しかしながら、足元には原材料価格の高騰に加え、円安等による諸物価の高騰、賃上げなど、問題は山積している。これらの変化を好機と捉えて一段と飛躍する中小企業を応援するため、デジタル化・脱炭素化をキーワードに、一層深化した各種支援策を展開したい」と抱負を語った。

また、年男・年女の方々による鏡開きには、布施戎神社の福娘が華を添え、盛大に賀詞交換が行われた。